

スクラム

～ 立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第3号(4月24日発行)
文責 校長 高倉 満

STAY HOME まずは健康を大切に！
「自立型人間」へ成長する大きなチャンス！
～今だからこそ、自分の夢、進路実現につなげていくあきらめない気持ちを持とう～

□「うさぎとかめ」のはなしから

この話は聞いたことがあると思います。この話の中には、あなたが人としてどう生きるか大切なヒントが隠されていると思います。様々な制約がある今だからこそ、自らが考え行動する機会にして欲しいから、しっかりと考えてみてください。

カメはウサギに「足がおそい」とバカにされて無謀にも「かけっこ」をのぞみました。そして、カメは足が遅くても一步一步確実に進みました。ウサギが本気を出せば、とてもカメがかなう相手ではありません。それでも、カメは自分にできることを精一杯やり続けました。たとえどんなに歩がのろくても・・・
それに対して、ウサギはカメをなめていたから途中で居眠りをしました。
「足の速さでカメに負けるはずがない」と油断したため、目がさめた時にはカメが先にゴールしていました。

継続することの大切さをカメは教えてくれている

あなたの心の中はどうだろう・・・プラスワンノート、ワークの提出、週末課題や毎日の宿題の提出。そして休校中の課題。あとでいいだろう・・・今度出せば、出さなくても関係ない・・・授業中、これくらいなら話しても・・・掃除、先生が見ていないので・・・係の仕事、適当に・・・きついからさぼろう、保健室に・・・
きつなくても、先生がいなくても、努力しなければならないことがあるはずなのに。
つついっつウサギのような油断、いいかげんさが心にむくむく湧いてくる・・・
人間は弱い生き物だから、その弱さを自覚しよう。弱さを自覚した人だけが強くなれると思う。そして、

いつでも、どこでも、ひたむきにコツコツやり続けよう！

はやいもので、4月も後半、ゴールデンウィークが始まります。登校日がなくなり5月7日までみんなとも会えません。でも元気に再会できることを期待し、学校再開に向けて先生達も頑張ります。新しい学年になり、友達や担任の先生と過ごしたのも数日、なかなか自分の目標に向かって頑張るスタートがきれないままになっていますが、一人一人が自分の置かれた環境で必死に頑張っていると信じています。「立志・挑戦・感動」の言葉をもう一度思い出して、みんなで今の状況を乗り越えていきましょう。
一年後、二年後、三年後、進路実現をする確かな力(心の力・学ぶ力)をつけるためにも、それぞれが力強い一歩、決意の一歩を踏み出して、歩み止めないでください。

□学校再開に向けて 学校の対応について

- (1) 手洗い・検温・教室のこまめな換気の実施
寒い日もあると思います。衣服等での温度調整への配慮をお願いします。
- (2) 近距離での会話や発声等の際、マスク使用の徹底
教育活動上、近距離での会話や発声等が必要な場面もあると思います。飛沫を飛ばさないように家庭でも咳エチケットを心がけるようにお願いします。
- (3) 心のケア スクールカウンセラー等による支援
生徒の状況を把握し、心の健康問題に適切に取り組めるように学級担任や養護教諭を中心に対応していきます。心配なことがあればご相談ください。
- (4) 給食指導 4月当初の三密を防ぐ対応の継続。
給食当番はもとより、生徒全員の食事前の手洗いの徹底、会話を控える等の指導を行います。家庭でもエプロン等の衛生面でのご協力をお願いします。
- (5) 部活動 基本的な感染対策の徹底 生徒の体力面や健康面に注意を払い適切な運動量での活動。
発熱等の風邪症状や体調不良の時は、部活動参加を見合わせ、自宅で休養させてください。

■今後の状況によっては学校再開等の予定変更も考えられます。今後も保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。